教科名〔英語〕

科目名	単 位 数	学年・組	担 当 者 名		
英語 3単位		2 学年 1 ~ 5 組	*		

1 学習の到達目標等

	ことばと人間との関係やことばと社会との関係など、広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を
	育てる。
学習の到達目標	ことば、文化、民族の多様性とその共存、自然と人間との共生を国際理解の基本理念とし、国際感
	覚の育成と国際協調の精神の育成を図る。
	英語の基礎的・基本的な知識や技能の習得を土台とし、コミュニケーション能力を養成を図る。
使用教科書・副教材等	三省堂「VISTA English Series Step One」

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1 . 学習活動の 特記事項 2 . 副教材の使 用など	考查範囲	評価の観点の ポイント				
						態度・意欲	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
第 1 学期	Lesson 1 Whistle Communication Lesson 2 Cathy Freeman	4 • 5	 ・カナリヤ諸島で使われている指笛コミュニケーションを通じて、ノンバーバルコミュニケーションの役割を知る。 ・シドニー・オリンピックで金メダルを獲得したオーストラリア先住民のキャシー・フリーマンの民族への誇りと民族を超えた意識を知る。 	・S+V+(疑問詞で始まる節) ・比較を表す表現(as~as,~ er than) ・関係代名詞(what) ・原形不定詞(help+O+do)	第1学期中間考査					
	Lesson 3 The Evel Eye Lesson 4 India	5 . 6	外国と日本の言い伝えの共通点や、外国の おもしろい掛け声など、言語文化を知 る。 ・インドの高校生、ラージのホームページ を見て、インドの言語や産業について知 る	・不定詞:(tell+ 人+to do)・(be happy to do) ・部分否定 ・譲歩を表す表 現	第1学期期末考査					
第 2 学 期	Lesson 5 Guernica A Symbol of Peace Lesson 6 Adobe Houses	9 · 10	 ・ピカソは『ゲルニカ』を描くことによって何を伝えようとしたのか。彼の独特な描法の意味を考える。 ・アメリカのサンタフェで守られている伝統的な家屋 アドービー造りの家屋の特徴、工夫を知る。 ・同じように伝統的な家屋を守る白川郷の人たち 	·助動詞 + 完了 (must+have done) ·助動詞 + 受身 (can+be done) ·現在完了進行 形 (have been doing)	第2学期中間考査					

	Step Two		・ アオウミガメの研究・飼育や子ガメの	・不定詞			
	Lesson 1		放流を伝えるテレビリポート。	(seem to do)			
	Come back again,		・ 小笠原海洋センターの果たす役割	(big enough			
	Little Turtles!			to do)	第		
				・・現在完了の	2		
		10		受身	学		
		•			期		
	Lesson2	11	・戦争によって傷つけられた子供たち。	• 関係副詞	期		
	Friedensdorf International	•	・国際平和村の子供たちと東ちずるさんの	(when, where)	末		
		12	交流	・過去完了	考		
				・強調構文	查		
				(It is ~ that)			
	Lesson3		東南アジアで人気のスポーツ「セパタ	・ 倒置			
	SepakTkraw		クロー」。 そのルールや人気の秘密を	・・・倍数表現			
~~	_		探る。	(twice as ~ as)	学		
第				・分詞構文	年		
3		1			末		
学	Lesson4		今や日本だけでなく、世界中で大人気の	・進行形の受身	考		
期	Sushi		「寿司」。そのルーツや人気の秘密を探る。	· 完了不定詞	查		
				(is said to have			
				done)			

【 1・2・3学期における課題・提出物等】

本文についての英文・訳・説明などを書き加えたノート。 課題プリント。ワークブック。

【1・2・3学期における評価方法】

定期考査。 授業への取り組み姿勢。 ノート提出、ワークブック及び課題プリント提出などを総合的に評価する。